



# ゾラ! Zora!



ナミビアだより  
第 17 号  
2019.2.12  
おおしま ふうか  
大島 風花



あつという間に今年も 1 か月が過ぎてしまいました。日本はとても寒くなってきたようですね。雪が降るのは楽しみです。インフルエンザが心配です。手洗いうがいをきちんとして、健康に過ごしてくださいね。ナミビアでは、雨が降る季節になったので、左のように、食べ物を育てるために土を耕している様子がよく見られるようになりました。牛に道具を引かせる昔ながらの方法です。機械にたよらず、自分たちの力でやるナミビア人はすごいなあいつも思います。

## まだまだあるナミビアの見所！ナミビア代表の植物ウェルウィッチアと、世界一大きないん石！

日本の国花(その国を代表する花)は、サクラとキク。色もきれいで、まさに日本の代表という感じ。さて、ナミビアの代表の植物は??



それが、これ、ウェルウィッチア！この植物は、水のない砂漠で 2000 年も生きられる、ふしぎな植物です。かわいた国ナミビアならではの感じ。



ドデーン！と外に置かれているのが、世界で 1 番大きないん石。こんなものが空から降ってきたら…と考えるとおそろしいです。

## ～これが、われらが、カバンゴダンス！～

私が住んでいるブンヤという村は、ナミビアの北のはずれにあり、カバンゴウェスト州に属しています。ナミビアには主に 8 つの民族がいると言われていますが、その中のひとつがカバンゴ族。カバンゴ族の文化の一つであるカルチャーダンスの様子です。



これはあるイベントで、ブンヤの学校の子どもたちがカルチャーダンスをおどっています。伝統的なダンスの衣しょうを身につけて、笑顔いっぱいにおどります。カバンゴ族はカバンゴ川で魚をとるので、その様子を表したりもします。こしと足の細かい動きは圧巻です！